



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひの かふち

《学校だより》 最終号

令和5年3月24日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

1年間 ありがとうございます！

今年度もいよいよ最後の日となりました。振り返ってみますと、今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえながらの学校生活でした。毎朝の検温、マスクの着用、手洗いなど学校ではもちろん、家庭においてもご協力いただくことが多々ありました。感謝申し上げます。しかし、「3年ぶり」に再開したものもありました。水泳、音楽朝会、宿泊学習、町の音楽会などです。「学びを止めず、一歩でも二歩でも前へ」という思いで、やり方を工夫しながら学習と感染防止の両立をめざして進めてきました。これについても、保護者の皆様のご理解、ご協力があったからこその実施です。ありがとうございました。4月からは新しい年度を迎え、子ども達も進級します。教育活動がさらに進んで、子ども達の笑顔がいろいろな場面で見られるようになることを願っています。

厳かで温かな 卒業式



3月22日(水)に卒業式が行われ、54名の卒業生がこの湯河原小学校を巣立っていきました。卒業生は担任の呼名に力強く返事をし、壇上でしっかりと卒業証書を受け取りました。

今年度は、6年生が歌や呼びかけを行い、参加した人たちの心に響く、感動的な式となりました。

1年生から3年生は残念ながら参加することができませんでした。しかし、式場となった体育館の中や6年生教室から体育館に移動する途中の階段には、華やかに飾りが飾られていました。学年ごとに今までお世話になった6年生に対する感謝の思いが表れたものでした。6年生もきっとその思いを受け止めながら卒業していったと思います。



体育館の飾り

式場設営は5年生

卒業式の式場設営のために椅子を並べたのは5年生でした。3月3日の昼休みに5年生全員で行いました。短時間できれいに並べ終えることができ驚きました。5年生はいよいよ6年生になります。学校のリーダーとして活躍することを期待しています。

お別れする先生方

学校にとって3月は、別れの季節でもあります。今年度も、残念ながら7名の先生方とお別れをしなければなりません。これまでお世話になったことに感謝するとともに、新しい場所での益々のご活躍をお祈りします。

退職	北村 和裕	校長	西村 悠子	養護教諭
離任	岩瀬 智子	教諭	梅本 周平	教諭
	鷲尾 貴子	教諭	福永 美海	教諭
	北島 陽菜	教諭		

第2校歌が完成

5年生が手がけてきた、第2校歌がついに完成し17日(金)の給食の時に放送で流されました。6年生にも聴いてもらうことができました。とても明るい感じの曲で、楽しく元気に歌えそうです。5月26日(金)の開校150周年記念式典の時に、全校の子どもたちが歌えるように、練習していきます。歌詞と曲を作ってくれた5年生、ありがとうございました。

感謝の思い！

私事になりますが、この3月で退職となり、湯河原小学校を去ることになりました。担任として8年教頭として2年、そして校長として3年間、この湯河原小学校で勤めさせていただきました。特に、この3年間はコロナ禍との戦いであり、今まで当たり前でできていた教育活動を1つ1つ見直し、感染症対策をとりながらどう進めていくかを模索する日々でした。子ども達の中には、これまで通りにできないことに歯がゆい思いをする子もいましたが、制約のある中でも一生懸命に活動する姿が見られ少しずつ笑顔が戻ってきたことにホッとしました。それを支えていたのが本校の教職員です。子ども達のためにという思いで一緒に悩み、話し合い、方向を見出していってくれました。誰もが経験したことのない危機的な状況の中で、心を1つにして乗り越えていこうとした教職員のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、保護者の皆様には不安な思いや心配をおかけすることも多々あったかと思いますが、ご理解、ご協力いただくことができ、本当にありがとうございました。

子ども達、保護者や地域の方々、教職員の温かな思いの中で勤めることができ、湯河原小学校が最後で良かったと心から思います。

*裏面にも記事を書きました。